

令和4年度 法人事業報告

(令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日)

社会福祉法人 戸越会

令和4年度・社会福祉法人戸越会 法人事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

<経営内容>

① 実施事業

◎ 定員 70名

(年齢内訳) 0歳児: 9名 1歳児: 10名 2歳児: 12名
3歳児: 13名 4歳児: 13名 5歳児: 13名

◎ 開所時間 午前7時30分 ～ 午後6時30分

◎ 延長保育時間 午後6時31分 ～ 午後7時30分 (有料)

保育標準時間 11時間

保育短時間 8時間

◎ 東京都保育サービス推進事業, キャリアアップ補助金支援事業

・特別保育事業等推進加算

0歳児保育, 0歳児延長保育, アレルギー児対応, 障害児保育事業

・地域子育て支援推進加算

小中高校生の職場体験受入れ, 保育所体験(よちよち散歩, 英語あそび), 保育園見学ツアー

・保育拠点活動支援

ボランティア, 実習生の受け入れ

◎ 「社会福祉充実計画」に沿って実施

② 事業経営方針

◎ 「社会福祉充実計画」に則り、令和4年度の計画を遂行した。

◎ 「保育所保育指針」をベースに保育計画を立案し、経営理念や保育方針、保育目標に沿って保育を実施。

◎ 子どもの「最善の利益」を第一に考え保育を実施。

◎ 個人情報の取り扱いや人権保護に努め、法令を遵守した。

◎ 地域貢献の為、子育て支援事業等を通じ地域交流に力を入れ、社会的責任を全うした。

◎ 保育の主体性を追求し、職員一人ひとりの質の向上を目指す。また、組織力、チーム力を高めるよう努めた。

◎ 「英語あそび」を通じ、0歳児から全園児を対象に異文化に触れ、国際性豊かな子を育んだ。

◎ 「健康体育」を通じ、たくましく健康な心と身体を育んだ。

◎ 年長児のカキラムとして「お茶のお稽古」を導入。日本の伝統文化に触れ、礼儀作法を身に付けた。

◎ 昨年度発足した3つの委員会活動を充実。また、共通の価値観を大切に、園内研修の強化に務めた。

③ 情報

◎ 個人情報の保護規程に則り、秘密厳守・個人情報及びプライバシー等の適切な管理に努めた。

◎ 今年度は第三者評価受審対象外。情報開示やより良いサービスの提供に努めた。

◎ 情報提供は、ホームページや一斉メール、園便り等で実行した。ホームページリニューアルの検討を開始した。

◎ 苦情解決の仕組みや、第三者委員と話す機会を設けて情報共有・情報公開を必要に応じて実施した。

④ 人材育成

◎ 職員研修計画に沿って、内部及び外部研修へ積極的に参加させた。園内研修では、健康体育の全体研修。気になる子の対応には、黒葛先生の訪問指導・及び全体研修を実施。

◎ 職員間の課題や職員体制を整える資料として、無記名アンケートを行い改善策の検討を開始した。

◎ 全職員が思いやりと協調性を大切に、互いの存在価値を尊重して、質の向上に努めた。

◎ 「虐待防止」「適切な保育とは何か」について園内勉強会を開き、セルフチェックや意見交換を実施。

⑤ 修理修繕

◎ 「社会福祉充実計画」に則り、計画的に修理修繕を実行。

◎ 緊急や臨時の工事が必要な場合は、臨機応変に対応。

令和4年度・本部活動内容

理事会・監事監査 実施日

開催日	内 容	出席状況
令和4年 5月 16日	監事監査 決算理事会資料、内容の確認	理事長 理事1名、監事2名
令和4年 5月 18日	決算理事会、令和3年度事業報告、その他	理事長 理事 5名、監事2名
令和4年10月 26日	一次補正予算、半期分事業報告、その他	理事長 理事 6名、監事2名
令和5年 3月 22日	二次補正予算、令和5年度当初予算、 令和5年度事業計画、その他	理事長 理事 6名、監事2名

※詳細は議事録参照

評議委員会・実施日

開催日	内 容	出席状況
令和4年 6月 11日	決算理事会内容報告 令和3年度事業報告、その他承認	理事長、理事 1名 評議員 6名

※詳細は議事録参照

理事長・活動報告

月	活動内容	月	活動内容
4月	稟議書・起案書の決裁、打合せ	10月	第二回理事会の打合せ・準備
5月	決算理事会の打合せ・準備	11月	稟議書・起案書の決裁、打合せ
6月	評議委員会の打合せ・準備	12月	稟議書・起案書の決裁、打合せ
7月	理事長面談開催月	1月	次年度・職員体制の打合せ
8月	稟議書・起案書の決裁、打合せ	2月	稟議書・起案書の決裁、打合せ
9月	稟議書・起案書の決裁、打合せ	3月	第三回理事会の打合せ・準備

※毎週水曜日 14:30～（振替は月曜日または木曜日）

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日)

東戸越保育園

令和4年度・東戸越保育園 事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

<h2>< 経営内容 ></h2>	
<h3>① 実施事業</h3>	
◎定員 70名 (実人数 74名)	
(年齢内訳)	0歳児: 9名 1歳児: 10名 2歳児: 12名 3歳児: 15名 4歳児: 14名 5歳児: 14名
◎開所時間	午前7時30分 ~ 午後6時30分
◎延長保育時間	午後6時31分 ~ 午後7時30分
	保育標準時間 11時間 保育短時間 8時間
◎法人の実施事業同様	
	法人の事業経営方針に則り進める
<h3>② 事業経営方針</h3>	
○ 経営理念	
◎こどもだいすき おもいやり こころのふるさと	
	・創設者信念のもと「未来の宝」に対して最良の愛情をもって接し、地域の子育て拠点として社会的責任を全うする。 ・園児の個性を尊重するため養護と教育を一体化した育成を実施し、個々の生きる力・生きる喜びの形成を支援する。 ・卒園児にとっていつまでも心の拠り所(原点)となり、誇れる保育園であるために、高品質な保育サービス・法人経営を目指す。
○ 保育方針	
◎大きくなったら、自分の目でみて、自分の耳できいて、自分の頭でかんがえ、正しい道があるき優しい心をわすれずに、立派な働く人になるように	
○ 保育目標	
◎健康でたくましい心と体を育む	
	・よく遊び、よく食べ、よく眠る子ども ・自分でできる、仲良くできる、約束をまもる子ども
<h3>③ 利用者サービス</h3>	
○ クラス運営	
◎「保育所保育指針」を基準に「全体的な計画」を立案する。また、全職員共通理解のもと一貫性・継続性のある保育を目指し、主体的な保育、及び質の高いサービスを追求。	
◎「全体的な計画」に沿い、年間指導計画の見直しを行い、月案、週案(週日案)を作成。	
◎各指導計画に基づき行事や保育実践をし、評価反省を繰り返すことで「子ども理解」に努めた。	
◎子ども達の日々の様子は、「連絡帳」や「できごとノート」を利用し、保護者と共有。	
◎家庭の事情や保護者のニーズを把握し、安心・安全・安定的なサービス提供を目指す。また、利用者とのコミュニケーションを大切に考え、連携を図ると共に保護者支援に努めた。	
◎職員共有の価値観を大切にし、園児一人ひとりの自己肯定感を高め、公平な支援を目指した。	
○ 保育の特色	
◎健康な心と体をつくる為、外部講師と一緒に0歳児から全園児を対象に「健康体育」を実施。	
◎異文化に触れ、国際性豊かな子を育む為、0歳児から全園児を対象に「英語あそび」を実施。	
◎年長児は小学校就学に向けて「静と動」を体験すると同時に、日本の伝統文化に触れる為「お茶のお稽古」を実施。	

- ◎5歳児は年長クラスとしての思い出作りや、協同性を高める為「夕涼み会」に参加。
 - ◎運動会は宮前小学校の体育館を拝借し、4・5歳児クラスが実施。(感染症対策の為、人数制限)健康体操の講師を招き、演目に親子体操をする機会を設けた。
 - ◎生活発表会は荏原文化センターを拝借し、4・5歳児クラスで実施。大舞台上でスポットライトを浴びながら大勢の前で自分らしさを表現する力を養い、自信に繋がった。(他クラスは動画配信)
 - ◎季節の行事や夏・冬祭り等のイベントは、各クラスで実施。ウィズコロナの視点から、感染症対策を施し、園児自身が楽しめる内容に変更した。
 - ◎今年度は、小学校6年生、高校3年生、前年度延期となった大学1年生の同窓会を開催。タイムカプセルを開け、再会を果たした。(小学校1年生～5年生の会は自粛)
 - ◎各クラス懇談会を実施。また、希望者のみ保育体験及び個人面談を実施。主に集団生活の中で気になる課題点を共有。今後の保育や支援の在り方について連携を図る。
 - ◎3年ぶりに戸越台中学校との交流(家庭科授業の一環)。宮前小学校との交流(授業見学)も実施。
- 食育(給食)
- ◎年齢に合わせた食育指導を実施。(食事のマナーや作法、野菜の栽培、栄養素の話し、命の大切さなどを学ぶ機会とした。(クッキングは自粛。5歳児のみ夕涼み会で自分のおにぎりを作る。)
 - ◎薄味で味覚を育て、好き嫌いのない子を目指し、無理強いせず何でも食べられるように促した。
 - ◎仲間と楽しい雰囲気ですぐに食事が出来るような環境を整え、感謝していただく事の大切さを伝えた。
 - ◎アレルギー除去食・代替食対応。
 - ◎保護者への給食体験は、感染症の影響により自粛。
- 保健
- ◎手洗い、うがい、手指消毒を徹底し、感染症予防に努める。また掃除や玩具消毒の回数を増やした。
 - ◎感染症の情報および予防対策は、素早く正確に保護者に提供。
 - ◎幼児クラスは、絵本や模型等を使用し、体についての保健指導を実施。
 - ◎職員会議や園内研修等で職員に緊急時の対応や感染症予防対策、嘔吐処理等を指導。
 - ◎全園児の予防接種の確認作業をし、健康管理に努めた。

④ 子育て支援事業

- ◎次年度入園希望者の施設見学は、28組が来園。(6月から毎週水曜日、一組ずつ対応)
- ◎地域の保護者を対象に保育所体験(ハロウィン・イベントレッスン)を実施。7組14名参加。
- ◎地域の保護者を対象に保育所体験(0歳児よちよち散歩)を実施。保護者8名、子ども6名参加。
- ◎小・中学生の職場体験は、小学生4名、中学生3名、計7名。ボランティア活動は11名参加。
- ◎実習生は3名を受け入れ、2名実施、1名はオリエンテーションのみでキャンセルとなる。

⑤ 苦情解決・第三者評価

- ◎保護者からの相談や苦情に対しては、現場→苦情窓口(主任)→苦情責任者(園長)と「ご意見・ご要望の解決の為の仕組みについて」に基づいて、速やかに対応。
- ◎第三者委員と語る会を開催。1名参加。

⑥ 情報関係

- ◎広報委員がホームページの更新を定期的に行い情報提供に努めた。リニューアルの検討も開始。
- ◎掲示板や園便り等で情報提供をし、動画配信等も実施。コドモン導入に向けて準備を開始。

⑦ 安全管理と環境整備・防災

- ◎園舎および園内の器具、玩具を点検し必要に応じて修理・修繕を実施。
- ◎食中毒や感染症の予防及び情報提供は素早く保護者へ通知し、被害を最小限に留めた。
- ◎リスクマネジメントは月1回会議を行い、ヒヤリハットを検証し、職員会議で周知徹底した。
- ◎避難訓練(地震・火災・津波・不審者等)は毎月2回、様々な状況を設定して実施。
- ◎安全管理委員が新たな事業継続計画(BCP)の作成に努めた。(たたき台完成)
- ◎委員会活動の充実、環境整備。また、全職員に無記名のアンケートを実施し、働き方改革に努めた。